

月次売上高情報

当社の月次売上高情報として、毎月の『店舗総合売上高』（前年比）を掲載いたしております。毎月2日前後に前月分の速報値を、15日前後に確定値を掲載いたします。

店舗総合売上高前年比 <確定> (2015年11月)

■店舗別状況 (前年比%)		■アイテム別状況 (前年比%)	
	当月		当月 (全店計)
札幌	100.5	衣料品	93.2
仙台	99.0	身の回り品	104.1
宇都宮	93.3	雑貨	102.1
新所沢	102.1	飲食	99.4
浦和	94.9	食品	98.9
池袋	94.4	サービス・催事計	78.8
渋谷	72.8	合計	94.9
ひばりが丘	99.0		
吉祥寺	91.8	■アイテム別状況 (前年比%)	
調布	101.1		当月 (既存店計)
津田沼	94.8	衣料品	92.9
千歳	89.0	身の回り品	104.1
松本	94.2	雑貨	99.3
静岡	98.7	飲食	95.1
名古屋 ※1	99.0	食品	98.9
大津	83.6	サービス・催事計	78.8
広島	94.6	合計	94.0
福岡 ※2	103.0		
熊本	84.9		
全店計	94.9		
既存店計 ※3	94.0		

※1名古屋パルコの前年比は、名古屋パルコmidi（2015年3月27日開店）の値を含みます。

※2福岡パルコの前年比は、福岡パルコ新館（2014年11月13日開店）および本館増床部（2015年3月19日開店）の値を含みます。

※3既存店計は、名古屋パルコmidi、福岡パルコ新館および本館増床部の値を除いたものです。

■当月の営業概況

- ◎全店計前年比94.9%にて着地いたしました。
- ◎化粧品、バッグなどの身の回り品が好調を維持し、売上高を伸ばしました。
- ◎気温が平年よりも高く、ダウン素材のアウターなどの冬物重衣料の動きが鈍かったことや、土曜日が前年より1日少なかったことの影響を受けました。
- ◎サービス・催事の売上高前年比は、昨年のエンタテインメント事業好調の反動に加え、海外情勢不安や円安などによる旅行の不振が影響いたしました。

■売上高前年比月次推移

2015年度	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全店計	92.2	106.6	107.8	99.1	104.0	102.9
既存店計	90.2	103.6	104.9	96.4	101.4	100.4
	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全店計	104.0	103.7	94.9			
既存店計	101.3	101.1	94.0			

2014年度	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全店計	111.6	96.0	102.1	98.1	97.5	101.0
既存店計	111.6	96.0	102.1	98.1	97.5	101.0
	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全店計	103.6	97.9	102.2	100.4	98.5	105.7
既存店計	103.6	97.9	100.5	98.7	96.9	104.1

※各月ごとに前年同月に営業実績のある店（ビル）を対比しております。

※既存店の値は、前年同月に営業実績のある店（ビル）の合計値です。

※2014年11月以降の既存店計は、名古屋パルコmidi、福岡パルコ新館および本館増床部の値を除いたものです。

『店舗総合売上高』とは店舗の総合的な販売力を表すため、以下の各売上高を合計したものです。

①テナント売上高

②パルコ劇場などの売上高

③固定賃料契約テナントの売上高

決算においては劇場などの売上高は「その他の売上高」に、固定賃料契約テナントの売上高は計上せずその費用のみを「営業収入」に計上しております。